

## 「目指すべき環境像」について

昨年の12月16日（水）、第2回南三陸町環境基本計画策定委員会が行われ、改定する環境基本計画において、南三陸町ではどのような環境を目指すのかを表すテーマとなる「目指すべき環境像」について議論が行われた。

各委員から様々な意見が出た中で最終的に以下の言葉が「目指すべき環境像」としてまとめられた。

南三陸町環境基本計画 「目指すべき環境像」(案)

### 創ろう未来の子供たちへの贈物

～変わらない海・川・山・人 まちの魅力に誇りをもって子供たちに伝え続ける南三陸町～

第2回の策定委員会はAグループ、Bグループに分かれてそれぞれ検討が行われたものの、各グループの発表時に、両グループとも本質的には同様の思いが込められた文言であることが確認された。そのため、AグループBグループの案は、どちらか一方を採用するという形式ではなく、テーマとサブテーマとして統合することとなった。

#### ◆創ろう未来の子供たちへの贈物（Aグループ）

「創ろう未来の子供たちへの贈物」というメインテーマの言葉には、海や山や川などの具体的な環境が大切なのはもちろんであるが、それらの先に次世代のためにみんなが誇れる南三陸町を作っていくこと、そしてそのような町を次世代の子供たちに届ける（贈物）ことが大切だという思いが込められている。

#### ◆変わらない海・川・山・人まちの魅力に誇りをもって子供たちに伝え続ける南三陸町（Bグループ）

サブテーマの「変わらない海・川・山・人 まちの魅力に誇りをもって子供たちに伝え続ける南三陸町」という言葉には、まちの自然を守るとともに、それらの自然が南三陸町にしかない魅力であるということ認識し、そうすることで、子どもたちが南三陸町に住み続けたい、戻ってきたいと思えるまちにしたいという思いが込められている。